

社会福祉法人 関西中央福祉会
平成リハビリテーション専門学校

第2回 教育課程編成委員会 議事録

1. 開催日時 平成28年3月17日(木) 19時00分～19時55分
2. 会議出席者
 - 水田 潤史 (兵庫県理学療法士会 阪神南ブロック長)
 - 小南 陽平 (兵庫県作業療法士会 阪神北南ブロック長)
 - 玉井 由美子 (兵庫県言語聴覚士会 阪神南ブロック長)
 - 大脇 毅 (西宮回生病院 理学療法士)
 - 隠田 良祐 (豊中平成病院 理学療法士)
 - 山下 惣平 (東浦平成病院 作業療法士)
 - 泉谷 佑美 (泉佐野優人会病院 作業療法士)
 - 濱部 典子 (東浦平成病院 言語聴覚士)
 - 岸本 裕佑 (岸和田平成病院 言語聴覚士)
3. 陪席者
 - 藤本 陽子 (教頭)
 - 畑中 良太 (理学療法学科 学科長)
 - 山内 匡也 (作業療法学科 学科長)
 - 青木 崇 (言語聴覚療法学科 学科長)
4. 会議の場所
兵庫県西宮市津門西口町2-26 平成リハビリテーション専門学校内
4F 第六講義室 にて

5. 審議・議題事項

今年度は2回目の委員会開催だが、初めて参加する委員もいるため、その点を踏まえた進行を行なうことを伝える。

1. 出席者の紹介
畑中 学科長より各委員及び当校役職者の紹介を行なう。
2. 職業実践専門課程の説明
藤本 教頭より職業実践専門課程の説明を行なう。

3. 教育課程編成委員会の説明

藤本教頭より教育課程編成委員会の説明を行なう。

4. 各職能団体の委員との意見交換

各職能団体の委員より「現在各団体で推進している分野について教育課程に取り入れた方が良いと考えられるもの」について意見交換を行なう。

水田 潤史... 学生のうちに職業団体の存在を伝え、協会の活動を知ってもらう。また、法制度について理解してもらうことで、自分たちの給料がどのようにして賄われているのかを知ることができ、学習意欲が上がるのではないか。6月に18歳以上の人に選挙権が与えられることを伝えることも重要。

小南 陽平... 現在推進している分野は、地域包括ケアシステムに向けて推進に参画できる人材の育成。

①専門職としての基礎力の育成。

②他職種とのコミュニケーションがとれる。他職種がどのような仕事をしているかを把握したうえで自分の専門性を発揮する。

③地域に自分の職域における役割を提言できる。

加えて、認知症対策。オレンジプランに即した形で認知症に対する作業療法士の役割を提言していく。

玉井 由美子... 地域包括にどういう形でSTが関わるかが一番推進されている。1年目の学生にその説明しても理解することは難しいが、国の方向性、取り組みを伝えることは必要。3士会で取り組んでいることなのでそれを知ってもらうことが必要。

他職種と重複する領域（認知症対策、嚥下障害）に対しては、STのアプローチと何が違うのかを明確にする必要がある。音を扱うというSTの強みを教育に取り入れてもらいたい。

5. 実習施設の委員との意見交換

大脇 毅 ... 実習を受け持つて感じることは、知識・技術がまばらな学生が多い、コミュニケーションスキルの低さ、患者に興味を持ってない、自分が何に困っているのかを表出することができないこと。学生の話す力が弱っていると感じる。知識・技術に走って、患者さんをみるということが疎かになっている。自分の好きなことをプレゼンするという取り組みをしている学校もあるので、取り入れてみてはどうか。

隠田 良祐... 学生はできなくて当たり前という思いで実習を受けているが、体調面、精神面が整っていて、レスポンスがある程度できて、セラピストになりたいという思いが表れている学生が望まれる。学生は様々な情報がつながっているという考えが持っていない。また、させら

れているという意識がある。成功体験を与えられるようなカリキュラムを行なってくればありがたい。他職種と交流すること、3学科でOSCEをするなどを取り入れてみてはどうか。

泉谷 佑美... 実習では学校で学んだ知識を患者さんを通して身に付けてほしい。またOTとはどのような仕事なのかを理解してほしい。評価を気にして萎縮しているの、実習とはどのような役割なのかを意識させて実習に臨んでもらえば有意義になると思う。平成リハの学生は患者をみようという意識が高いが、その分レポートになると何をどこに書いてよいかわからず時間がかかってしまう。動画を見てレポートを書くなどの課題をしてもらえると実習がスムーズになり患者にかかわる時間がとれると思う。

山下 惣平... 指導者と学生の意見を統合して考えるスキルが欠如しているように感じる。最近多いのが、評価のやり方は調べるが既往歴など患者の背景を調べて、患者を知ろうとする努力が少ないように思う。地域包括など介護保険分野に傾いている傾向があるので、デイケアや他職種など専門以外の見学をさせてもらえるように依頼してもよいと思う。学校と現場で指導にずれが生じないよう、学校の意見は伝えてもらう方がよい。

濱部 典子... 学校で磨けるコミュニケーション能力と現場で磨けるコミュニケーション能力をシェアできるとよい。学校での学生の情報はできる範囲で伝えてほしい。また、知識が経験に結びつかない学生が多い。

岸本 裕佑... レポートを作成する中で、担当症例と関係を築くことができない。特にSTは個室に入って1対1で対応することが多いので、フリートークがうまくいかない人とできる人の差を感じる。また、機能障害ばかりをみてしまい、生活全般をみるのが苦手。障害ばかりを追うのではなく、他職種との関係も含めた点をいろいろと教育してほしい。

以上をもって各審議・報告事項を終了する。